

## 表紙のことば

写真は賀陽町吉川の改良牧野

2 - 3年前までは殆んど手が入れられず灌木が生い繁っていたそうである。されがもの見事に改良されたのである。

早く日本の山裾もこのようにならんものかと一人思った。

からない山があちこちに見えたが一向に牧草も生えているようでもない。そこで不思議に思って問うて見ると「あその山は村一番の金持ちの所有で乳牛を飼わなくても喰って行ける家だ」といってきかせてくれた。村の牧草地は急な山裾だった。金持ちの一寸の手数で牧野になる山は遊んでいる。伸び行く村とは皮肉なものだ。

---

ある村で（備中集約酪農地域）「先生 私の村にも乳牛が遂に70頭になりました」とほこらしげに語ってくれた農協の職員がいた。

そして「山にも牧草が生えるようになりました」としかし、なだらかな灌木のある開墾するにも手数のか